



# 新年明けましておめでとうございます



## 2011年 一緒にいのち・暮らしを守る政治の実現を!

### 希望の持てる政治の実現を!

益田牧子

去年は、熊本市の国保をよくする会の4万5千人をこす署名活動や市長交渉など運動の結果、年末には無保険を解消することができました。県下最低レベルの子どもの医療費助成制度も、近く入院に続いて通院も小学3年生までに拡充されます。「闘ってこそ、市民の権利を守ることができる」ことを実感しました。

今年は、「国保料の引き下げ」「中3までの医療費無料化」「住宅リフォーム助成実現」など、草の根の力を更に強め要求実現に取り組みます。

4月には、県議・市議選が闘われます。県議会での日本共産党1議席の復活、市議会での引き続き3議席の必勝にむけてがんばります。ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

今年が皆さんにとっていい年でありますように!

### 「いのち輝く・笑顔の市政」へ 飛躍の年に!

上野 みえこ

去年は、紆余曲折を経て植木町・城南町が合併、人口73万人の新熊本市が誕生しました。政令市移行の準備がすすめられています。

市民アンケートでは、政令市・熊本への期待の第1位は「子育てや福祉・医療等が充実した、安心して暮らせる都市」です。国民健康保険や介護保険、子育て支援、住宅リフォーム助成制度創設、そして基幹産業である農業を守ることなどに取り組み、「いのち・暮らし」最優先の政治へ、全力投球したいと思います。

4月、県議選(10日投票)では、空白議席を回復し松岡徹さんを県政に、市議選(24日投票)では、日本共産党市議団の3議席を守るため、力を尽くす決意です。

干支のウサギにあやかり、ぴよんぴよん跳ね

て、「いのち輝く・笑顔の市政」へ、飛躍の1年となるよう、ともに頑張りましょう!

よろこびの春を迎えるために・・・。

### 連帯し、くらし応援の政治を!

なすまどか

いよいよ議員1期目の最後の3ヶ月を迎えます。4年前に議会に送っていただき、「少しでも暮らしやすい社会に」とのみなさんの思いを届けるために全力で頑張ってきました。

「保険証がなく病院にかかれない」との声を受け、毎議会のように取り上げた「国保の無保険の解消」。去年は「経済的な理由で無保険となっている世帯には保険証を届ける」と市も対応を改善し、8000世帯あった無保険世帯が2000世帯にまで減少しました。

市民の運動との連帯で、くらしを守る市政へ一歩前進したことを確信にし、今年も頑張りたいと思います。

今年、私は年男です。うさぎのような大きな耳で皆さんの声をしっかりと受け止め、政治にいかしていきたいと思います。

県議・市議の一斉地方選挙を突破し、くらし応援の政治を実現するためにがんばります。

日本共産党 市議会だより

NO. 739

2011年1月 新年号

電話 328-2656

FAX 359-5047

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



# 基幹産業・「農業」支援策の拡充を！

## TPP参加 きっぱり反対を！

日本は、食料自給率 39% (先進国平均 103%)、耕作放棄農地が全耕地の約 1 割、農業従事者の 45% が 70 歳以上、しかも農産物価格は暴落をつづけ、政府モデルの大規模農家でさえ「やっていけない」農業の危機です。政府のすすめる環太平洋連携協定・TPPへの参加は、農業生産額を 4・5 兆円に減少させ、食糧自給率を 13%に、農業の多面的機能が 3 兆 7,000 億円の喪失、関連産業への影響は国内総生産で 8 兆 4,000 億円の減少、350 万人の雇用機会が減少するとの試算です。11 月 8 日、熊本市・鹿本・宇城の各農協連名で、「TPP交渉参加に反対する要請」が市議会に届いています。

上野議員は、幸山市長に、TPP参加にきっぱりと反対し、熊本の農業と食料主権を守る立場に立つことを求めました。市長は、「TPP参加は農業に大きな支障をきたす由々しき問題と認識している。農業の持続的発展ができるよう国に要望していきたい」と答弁しました。

## ハウス農家の A 重油等に、自治体助成を！

合併によって熊本市の農家戸数は 1・5 倍に、野菜や花卉・樹芸は産出額ベースで約 1・5 倍に増えています。原油高の影響を受け、ハウス農家では重油の負担が大きくなっています。植木町では農協 (1 円)・経済連 (0・5 円) が補助を出しています。年間、農協の補助額・約 2,000 万円、経済連・1,000 万円です。上野議員は、市が農協と同程度の補助をし、経営の支援を行うよう求めました。



## 米価暴落への対策を

かつて 1 俵 2 万円だった米価が、いまや 1 万円そこそこにまで落ち込んでいます。500ml のペットボトルの水・120 円に対し、同量の米は 117 円です。八十八の手間をかけ、丹精こめた汗の結晶が水より安いという異常。生産者米価を農家の時給に換算すると 325 円、労働者の最低賃金の全国平均 730 円の半分にもなりません。市内の米農家からも「主食の米は作れない」の声が聞かれます。熊本市の米の産出額は、なす・温州みかんに次ぎ 3 番目に多く、年間 52 億円を超える市を代表する農作物です。

米価暴落にあえぐ農家の思いを受け止め、必要な対策とるよう求めました。市長は、「米価引き下げが、農家の経営維持に支障をきたすことを危惧する。将来の展望が描ける施策を展開したい」と答弁しました。



## 2010年、市民の切実な声を市政に届けてきました

- \* 「政令市移行後の区割り」について、市民連との共催で、岡山市から講師を招き学習会を開催や「市議会だより」号外を発行。他会派との共同で 4 区案を提案したものの、5 区・総合支所の拡充で決着しました。
- \* 「国保をよくする会」が結成され、国保料の引き下げ、無保険状態の解消をめざし、10 万人を目標に署名活動が始まり、4 万 5 千人を突破。市長交渉や局長との懇談を通して、無保険状態の改善が進みました。
- \* 政務調査費の「市民の目線」からの使途基準の見直しを坂田議長に申し入れ⇒第三者による監査実施へ、「市議会広報紙」発行へ
- \* 「市民アンケート」に、1000 通を超える回答。「無保険状態が続いています。助けてください」「子どもにお金がかかり、生活が苦しい」など切実な声が多数寄せられ、「政治に力を入れてほしいこと」の第 1 位は「国保料引き下げ」
- \* 8 月高齢者・低所得者などの「熱中症」対策の申し入れを行いました。小中学校の普通教室へのエアコン設置を要望しました。
- \* 駅前再開発ビルの「図書館」の「指定管理者制度」に反対し、直営を求めました。(日本共産党以外の賛成で直営から、民間委託へ)
- \* 「住宅リフォーム助成」「公契約条例の制定」「若者の雇用確保」など地域経済活性化策を提案しがんばりました。

